

会 議 録

1 会議名

令和2年度 第9回和田区地域協議会

2 報告（公開・非公開の別）

（1）令和2年度地域活動支援事業の変更承認について（公開）

（2）令和2年度地域活動支援事業の完了について（公開）

3 議題（公開・非公開の別）

（1）和田区の地域課題について（公開）

4 開催日時

令和3年3月18日（木） 午後6時30分から午後7時53分まで

5 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

6 傍聴人の数

1人

7 非公開の理由

—

8 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：有坂正一（会長）、植木厚祐、金子良一、草間雄一、佐藤勝雄、篠原精子、清水雅浩、高橋武弘、平原留美、宮崎雅彦（副会長）山岸優子、横田英昭（欠席2人）

・事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、田中主任

9 発言の内容

【小池係長】

・片田委員、佐藤力委員を除く12人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

【有坂会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：高橋委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・ 配布資料の確認
- ・ 次第に基づき、議題の確認

【有坂会長】

- ・ 「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし。

— 次第3 報告（1）令和2年度地域活動支援事業の変更承認について —

【有坂会長】

次第3報告（1）「令和2年度地域活動支援事業の変更承認について」に入る。
事務局より説明を求める。

【堀川センター長】

- ・ 資料No.1に基づき説明

【有坂会長】

事務局の報告に質問のある委員の発言を求めるがなし。

以上で、次第3報告（1）「令和2年度地域活動支援事業の変更承認について」を終了する。

— 次第3 報告（2）令和2年度地域活動支援事業の完了について —

【有坂会長】

次に、次第3報告（2）「令和2年度地域活動支援事業の完了について」に入る。
事務局より説明を求める。

【堀川センター長】

- ・ 当日配布資料No.1に基づき説明

【有坂会長】

事務局の報告に質問のある委員の発言を求めるがなし。

以上で、次第3報告(2)「令和2年度地域活動支援事業の完了について」を終了する。

— 次第4 議題(1) 和田区の地域課題について —

【有坂会長】

次第4議題(1)「和田区の地域課題について」に入る。

前回の会議では、これまで委員から出された意見のほかに、取り組みたい地域課題や意見がある場合は、2月末までに、事務局に任意で提出してもらうことになっていたが、特に意見の提出はなかった。

次に資料No.2について、これまで委員から出された意見をもとに、地域課題や地域協議会で取り組むテーマの案を正副会長と事務局で整理した。事務局より資料の説明を求める。

【堀川センター長】

- ・資料No.2に基づき説明。

【有坂会長】

本日の会議は、資料No.2の地域課題(案)の(1)から(10)の中から、地域の関心が高いと思われるもの、緊急性があるものなど、そういった観点で考えていただき、今後取り上げてみたいテーマについて意見を出してもらいたい。植木委員より順に委員全員から意見を伺う。

【植木委員】

やはり和田区で考えると(1)の公立保育園の老朽化については、和田区以外でも市全体で老朽化している話にもなってくるかと思う。(3)高齢者の見守り支援とか、(4)避難経路の安全確保とか、(5)地域の防犯対策とか、(2)以外は、市全体の問題になってくると考えている。市の財政の問題もあるが、和田区という地域性で見ると(2)の上越妙高駅周辺の整備と将来的な展望という項目が一

番テーマとしてはふさわしいと思う。

【金子委員】

何回か欠席させてもらったために、私が挙げた「上越妙高駅周辺の今後について」の説明はまだしてない。私の個人的意見では、上越妙高駅前周辺をこのように整備した方がよいという考えを持っている。市の考えもわからないが、この地域協議会はどのように市と協議できるか。どの程度の力があるのかわからないので、話し合うにしてもどのレベルでどう話し合えるか最近不安に思っている。私がいろいろ言って市に提案しても市が聞いてくれるかどうか。それが一番大事かと思っている。そうしないと空振りに終わるような感じもする。だから地域協議会で1年近く活動して、地域協議会はどれだけの効力があって位置的にどれだけの力があるのかわからない。これを市に要望して、それが話し合いになるのかわからない。話にならないのであれば話をする必要がないと思っている。私は区画整理の地権者であるが、その地権者と市との話し合いの場が20年くらい前にあった。そしていろいろ意見交換をしたが、市ではもう全部ビジョンが決まっていて地権者の意見を全然聞いてくれなかったという経緯があった。それで自分の考えを書いたが、協議して話が前に進むのかという不安がある。

【有坂会長】

この上越妙高駅周辺を地域協議会の課題として、どういったことができるか話し合いをして、それを市に提案することで終わるかと思う。それをしたからといって何か変わるとか、そこまではいかないと思う。提案してそれを参考に何かすることがあるかもしれない。例えば、金子委員の意見について、どういったことをやっていきたいのか、ちょっと金子委員の文書では、なかなか我々も掴みきれなかったので何とも言えない。ただ、駅周辺をどういった形で活性化させるか提言することはできると思う。だからといって市が動くかどうかはわからない。

【金子委員】

結局この地域協議会は、市に要望を出してもそれが通るか通らないか、通らないことがほとんどという感じなのか。

【有坂会長】

多分、要望を出すことが我々の立場になるかと思う。例えば地域協議会で決めたから、市にこうなさいということにはならないと思う。

【金子委員】

だから私は、市のトップの人に直接話さないと話が決まらないと思っている。この上越妙高駅周辺のことは難しい問題。

【有坂会長】

最初、委員の皆さんから2班に分かれてもらって、地域の課題について幾つもの意見を出してもらった。その中からこの10項目にまとめた。今日はどれを課題にするか決めてもらいたい。特にこの10項目の中に該当するものがなければ、意見として伺う。

【金子委員】

20年ぐらい前に地権者で話をして上越妙高駅前周辺をどうするか、我々も市に協力して移転した。ここが発展するというので移転したが、20年前に市長が変わり、図面から全部変更になった。そのことは、皆さんも知らないと思うが、前の図面のことを言っても、もう市長が変わったことだからこれも駄目、あれも駄目と言って、今度イオンが来るって言ってそれも駄目になった。市はそういう政策だった。だからそれを覆すことができるのか。

【有坂会長】

そこまで考えても、今、意味がないと思う。

【金子委員】

私はそれを覆してもらえらなら言ってもいいが、言っても全然聞く耳を持たず馬耳東風であれば意味がないと思っている。聞いてくれるのならいい。

【有坂会長】

地域協議会は、多分そこまでの力はない。だから、市の考え方を変えさせたいとか、そういった気持ちであるならこの地域協議会では役には立たない。

【金子委員】

だから今回で市長が変われば、また違ったビジョンになると思っている。市の考えは上越妙高駅を発展させないというビジョンでいる。それをどうにかしても

raitaitai o omotte kono you ni shiita. sono bijion ni tsuite, shira ga ittemo awarawanai no nara iu hito wa nai to omou. mimikami o motte kureru nara iu ga, awarawanai nara iu imi ga nai.

【有坂会長】

では、この件に関しては発言なしということによいか。

もし、上越妙高駅周辺のことを課題として取り上げることが決まったら、どういったことを市に提言するか、これから内容を話し合っていくことになる。それがどういう話になるか、どんな内容になるかというのは先の話である。金子委員の考えのとおりになるかどうかはわからない。委員全員と話し合って決めることになる。それと地域協議会は、市の方針を変更するだけの力はないと思う。もしそういったことが望みであるなら、これは期待はずれになる。そういったことを頭に入れて、今日のこのテーマについて発言をお願いします。

【金子委員】

承知した。

【有坂会長】

特に意見はないということによろしいか。

【金子委員】

私の個人的意見は書いたとおりである。

【有坂会長】

皆、個人的な意見である。

【草間委員】

保育園の件は町内会長会がそれなりの動きをしていると思う。それをバックアップする形で、地域協議会として意見を言うかどうかだと思う。

上越妙高駅周辺のことについては、ハード面はもうほとんど固まってきているので、ソフト面で駅前の活性化をしたいのならやるべきだと思う。昨年度に開催した「みんなの冬のカーニバル」は雪がなく、それなりのことができなかった。あのようなものを皆の力でやっていけるのなら、ソフト面で何かやればよいと思う。意見を出した際は好きなことを書いたが、なかなか難しい問題があると思

う。

高齢者の見守りは、稲荷町内会では固まっているのでそれほど気にしていない。

避難路の安全も稲荷町内会はほとんど気にしていない。

【有坂会長】

全部に言及せず、緊急性や重要性といった観点から絞ってほしい。

【草間委員】

通学路と歩道の整備を市に陳情したい。また、上越妙高駅周りで何かイベントができるのか、考える余地があると思う。

【有坂会長】

何を課題に挙げたいのか。

【草間委員】

上越妙高駅周辺地域の活性化に向けイベントをやれるかどうかである。

【有坂会長】

細かなことは課題が決まったら話し合っていくので、まずどれを課題として取り上げたいかということをお願いしたい。

【佐藤勝雄委員】

私は（６）通学路・歩道等の危険箇所についての洗い出しである。弱者である小・中学生等の通学路の危険箇所の除外、そういったことを話し合いたい。

【篠原委員】

短期で解決できそうなものとして、（４）（６）（７）を挙げる。あと、長期で考えたいのが（２）である。

【有坂会長】

長期の意味は。

【篠原委員】

長期というのは、なかなかすぐに結果が出ないかもしれないが、継続して取り組んでいきたいという意味である。（４）（６）（７）は何とか解決できそうな感じがするので挙げた。

【清水委員】

前回の会議で高齢者の見守り支援と地域の防犯対策を挙げた。一つに絞るとい
うことであれば高齢者の見守り支援を挙げる。

【高橋委員】

私は（７）道路の街路樹の管理を挙げたが、よくよく考えてみると県道のこと
なので、市にお願いしても仕方ない話かと思った。街路樹の管理も県であれば、
提案してもあまり意味がないので（４）（６）を挙げる。これは関連する話かと思
っている。また、喫緊・緊急という事柄だと思うので、できるだけ早めに検討し
ていきたいと思っている。

【有坂会長】

おそらく市では何もできないのではないかと思うが、要望を出すのは可能かと思
う。

【平原委員】

ここ２、３か月、地域の課題についていろいろ考えていた。そもそものところ
で、私も金子委員や皆さんも考えていることかもしれないが、地域協議会は何だ
ろう、地域協議会委員って何か、考えたりしていた。私も小さい子どもを持つ母
親なので、保育園の老朽化については少し気になるところである。地域活動支援
事業では、市に大規模な施設の設置や開発を求めるために行う事業や会議等は対
象外と認識している。また、行政サービスの提供や公共施設の整備等を市に求め
る事業も対象外と認識している。そうすると地域協議会でできることは地域のた
めになるまちづくり活動かと考えていたところである。今日ここに来るまで、高
齢者の見守りや道路の管理などを考えていたが、植木委員、金子委員の話を知り
て、やはり和田区で唯一、他のところと違う活動ができるかということと上越妙高駅
周辺に関するものかと思い、活動するのであれば（２）がよいと思う。

【山岸委員】

平原委員も言われたように和田区地域協議会ができることを考えると老人会の人
達はこの事業とか、町内会はこれとか、では地域協議会は何を目指してやって
いけばいいのかというのがちょっとわからなかった。資料No.2を見て、やはり（２）
の上越妙高駅周辺の整備、将来的な展望などは、もしかしたら（８）の世代間交

流や(9)の町内会の横の繋がり強化に繋がることではないかと思い(2)を挙げる。

【横田委員】

私は避難路の安全確保を挙げていた。この10項目はみんな重たい課題だと思う。先ほどから意見が出ているように、上越妙高駅周辺の活性化や賑わいなどは、何をするか、そういうことを話し合う場でよいと思っている。

【有坂会長】

(2)を課題に挙げたいということによろしいか。

【横田委員】

はい。

【宮崎副会長】

(2)の上越妙高駅の周辺整備については、なかなか開発とか整備が進んでいないが、これから上越市の中で一番変わっていくのは、上越妙高駅の周辺だと思う、和田区だから上越妙高駅のテーマだと思った。ただし、このテーマを最初にやると重たすぎていろいろなものが出てくる。例えば避難路とか通学路とかは、町内会とか議員さんとかにお願いすればよいことであって、地域協議会でやるべきことではないと思っている。また、世代間交流とかコミュニティはなかなか難しく形に出せないのもので、最初にやるなら公立保育園の件ではないか。実際に施設を見たりして、これから子どもたちが一番大事だと思っているので、そこからまず始めるのがよいと思う。次に(2)の上越妙高駅の整備がよいと思ったので、(1)から始めるのがよいと思う。

【有坂会長】

私の考えは、宮崎委員も言われたように上越妙高駅の周辺開発についていろいろと議論すると、多分、話が多岐に渡って広がり過ぎて、内容が広がっていくのはいいが、それでまとまるのかというのがちょっと心配である。私は子どもが大きくなって、その子どもに子どもができるような年代になってきている。大和2丁目に住んでいる中で近くに大和保育園があり、かなり老朽化している。また、和田保育園もかなり老朽化している。町内会長会でもいろいろと市に具申をされ

ているということを聞いているが、それをバックアップできるような意見をまとめることができればと思い、保育園の老朽化の問題を課題に挙げればよいと思っている。

一番多かった意見が（２）の上越妙高駅周辺の整備、将来的な展望、周辺地域の活性化、観光振興に関する意見であった。それでは今日、課題を一つに決めるということで、意見が一番多かった（２）を和田区地域協議会が取り上げる地域課題としてよいか。

【宮崎副会長】

多数決をとったらどうか。皆の意見を聞いて考えが変わった委員もいるかもしれない。

【有坂会長】

そこまでは必要ないと思う。約半数の委員が上越妙高駅の件を課題にしたいと言われた。特に意見に変わりはないか。

【宮崎副会長】

上越妙高駅について私の方から聞きたい。上越妙高駅の整備や将来について、どういうところからまとめていくのか。これから考えることかもしれないが、具体的にどのように進めていくか、もし考えがあれば聞きたい。

【平原委員】

上越妙高駅前で事業を営んでいる。地域協議会の力で観光客をたくさん呼んでくるとか、そういうのは多分難しい。我々事業者でも難しい。例えば、今、上越妙高駅の東口が寂しいというような声を結構聞く。上越妙高駅周辺事業協同組合の方で、一部管理はされているかもしれないが、何が足りないのか。草が生えているからちょっと見栄えが悪いとか、そういった意見を交わすことで、まず地域協議会でできるならお花を植えてみようとか、そういう小さいことから始められればよいのではないか。

【有坂会長】

もし、この内容に決まれば、またこれから話し合っていくことでよいと思う。今ここで大きな課題としてどれを選ぶかということになると思う。

【堀川センター長】

今の段階は、和田区地域協議会における地域の課題は何か、それをどのように審議するかを議論されている。自主的審議は、市に何か要望することが目的ではなく、そのテーマについて地域協議会が地域の皆さんを巻き込んで、地域と一緒にになって、どういうことをやっていくかを考えながらテーマを選定してほしい。例えば、人口減少問題のような大きな問題を掲げてしまうとできることがなくて最終的に詰まってしまうことになる。地域と一緒にになって地域協議会委員も汗をかいて、どうやってこの課題を解決していくのかということ視野に入れ、その結果、どうしても地域だけではできない、行政の力を借りないとできないというものについて、市に要望書を出す。もしくは地域の団体の力でできるものであれば、地域活動支援事業の資金を使って、地域の方から実際に動いていただく。そのための資金として地域活動支援事業があることを理解してほしい。

最初に植木委員が、保育園の老朽化は和田区だけの問題ではないと言われたが、ここは和田区地域協議会なので、他区のことを気にする必要はない。

また、金子委員からは、市に何か言っても聞いてくれないと言われたが、今日の参考資料で高田区地域協議会が出した意見書の写しをみてほしい。これは高田区地域協議会として意見を取りまとめたものである。国は内水氾濫に対応した「内水ハザードマップ」を作成するよう自治体に通知したが、市はまだ未作成の状況になっている。それで、高田区地域協議会が高田区で内水氾濫が発生する地区があるということを懸念して、内水ハザードマップを早く作ることを要望する意見書を出した。市はこのような意見書を受けて、「このように考えている」もしくは、「このようにすることができない」といった回答をすることになっている。地域協議会は、そういった意見を市に直接言えることができる機関である。

金子委員が考えている問題について、この地域協議会の中で話し合い、それはこの地域協議会の総意として市に意見書を出さなければならないと意見がまとまれば出すことは可能である。先ほど委員から「話を聞いてくれないのであれば無意味だ」と言われたが、高田区のように地域の意見を市に出すことができる機関がこの地域協議会である。

【植木委員】

委員の任期は後3年あると思うが、このテーマを決めたらこの3年間、話し合うことになるのか。それとも1年ごとにテーマを決めていくのか。

【堀川センター長】

特に期限はない。結果として、何もまとまらないで終わってしまうこともある。それは、その協議の行く末による。

【植木委員】

いつまでに要望書をまとめるのか。ただ単にまずはテーマを決めるということか。

【堀川センター長】

まずはテーマを決めるというよりも、地域の課題を皆さんから話し合ってもらうことから始めている。その後、内容や議論の進め方を話し合ってもらう。

【植木委員】

承知した。

【金子委員】

先程、市に要望しても無意味だと言ったが、なぜ無意味と言ったのか皆さんはわからないと思う。22年前に今はもう辞めた宮越市長の話で、この新幹線駅前のビジョン「のびやかJプラン」とかで上越妙高駅を中心に発展させ、企業やいろいろスーパーを呼んで、発展させていくというビジョンがあった。図面もあって、私ら地権者がみんな納得した中で、20年前に市長が替わった途端にその前の図面が全部ひっくり返って全部なしとなった。それで今は図面も全然違う。それが市長1人の独断で変わった。それで私はずっと黙っていたが、開業して6年になってもこの状態だから、それを換えられるかなと思った。言っても意味ないというのは、そのビジョンが変わらなければ意味がないという意味である。

【有坂会長】

意見として伺っておく。

先程、事務局からも話があったように、今ここで課題を一つに絞ったとして、1年で終わるか、あと3年かけてその課題をまとめることができるか、それはそ

の課題によって変わる。委員からのご意見の中から一つに課題を絞って、例えば市なり、或いは地域の人達をまき込んで何か活動をしていく。委員の意見の数からすると、上越妙高駅周辺の活性化ということが一番数多かったもので、それに決めるか、それともまた他のものにするのか。

【植木委員】

テーマを1つ解決してから次のテーマに行くということも可能だと思う。先程ちょっと話がでたように、この中には短期的に本当に集中して話し合っただけで要望書をまとめられるような項目もあると思う。数多くの課題に対して、何か提言をしていった方がよりよい地域協議会の形になると思う。テーマが大きすぎて、これからの3年で何も結論が出ず何も成果を残せなかったというよりは、何かもう少し違ったアプローチができるのではないかと思う。一つに何か決めるということに固執するのではなく、解決方法は時間軸も考えながらテーマを考えないといけない。すべてのテーマに関して、「これは1年ぐらいでできそう」とか、「これだったら半年ぐらいで解決できそうだ」とか、そういったものを決めない限り、テーマを一つ決めることはなかなか難しいのではないかと思う。

【宮崎副会長】

私も植木委員の意見に同感である。参考として、南部まちづくりセンターでは和田区の他に3つの区を担当しており、他の区はテーマが決まっています、今決まっていない区は和田区だけという話もある。やはりテーマをここで決めたほうがいいかなと思う。先ほどからの私の話の繰り返しになるが、住民の皆さんと意見交換をしたり、どのようにしてやっていくか手法もまだわからない段階で、一番やりやすいのは公立保育園の老朽化だと思う。まず現地を見て、市からの方針を聞いて、保護者と意見交換をしたり、どのようにまとめていくかを学ぶのに一番わかりやすいと思った。それを1年ぐらいでまとめて、そのあと大きいテーマである上越妙高駅の方に進んで、2年ぐらい後があるので、その中でまとめていくことでよいと思った。これからまた皆さんの意見を聞いて、ここでどれがよいか手を挙げてもらって、一番多いもので決めればよいと思う。

【佐藤勝雄委員】

今、宮崎副会長の（１）の公立保育園の老朽化の話だが、宮崎副会長も町内会長でおられ、町内会長より数年来、老朽化による改築を依頼されている。和田保育園も同じである。市はある程度、方針が決まっていると思う。どんどん少子化になってきて、アーバンビレッジができない限りは単独で和田保育園として運営できるかどうかもちよっと危ういところがある。だから、この（１）は取り上げても、もう私達の意見は通らないと思う。

（２）も和田区として非常に大事な新幹線の玄関口だが、これも地権者がある程度、もう決めているというか、特に西口は飛田テックさんの計画ができていたと思う。和田区のアピールとしてイルミネーションやひなまつりは大変よいと思う。だから、あまり大きいテーマは議論するには抵抗がある。

私は（６）が地域に密着していてよいと思う。大和小学校区はまだまだ生徒さんがおられるが、和田小学校区は減ってきている。通学路で危険な箇所もまだまだ多い。以前の話し合いで挙げたグリーンベルトの延長や危険箇所の看板などの事柄がある。ほ場整備で歩道スペースが今回５７０m施工されるとのことで大変うれしく思っている。先程言及したが、和田区の弱者を守ることを話し合って、少しでも住みやすい地域づくりを図っていきたいと思う。

【草間委員】

私は（２）を挙げたが、駅周辺の開発や活性化ということになると何をやるかというのが非常に難しい選択になってくると思う。イベント的なことを考えるのか、ハードで歩道整備をやるのか。私は稲荷まで歩道を作ってもらうと一番よい。ただ、これをやりますと言っても、そのうちの何をやるかということをもっと詰めないといけない面がある。それでもこれを選んでもよいか。それとも資料No.2の下の方の項目は、一つ一つが何をするかははっきりしている。例えば通学路の歩道の整備をやって、また、何年かかってもいいから駅前周辺もする。検討しながら進んでいくことでもいいような気もする。そっちの方がやりやすいと思っている。通学路でなくてもよい。要はやりやすいものを一つ目のテーマにした方がよいと思う。

【有坂会長】

この会の進め方としては資料No.3の10項目の中でそれぞれ何ができるかということをもまず挙げて、それからどれにするかというやり方もあるだろうし、まずテーマを何か一つ決めて、それからその中でできることを考えていくやり方もあると思う。例えば、保育園の老朽化について何ができるかということをもまず考えて、次に上越妙高駅の周辺のことでも何ができるかということをも考えてとなると、それだけでかなり時間だけ食ってしまうことになると思う。よってここでテーマを一つ決めて、その決まったテーマについて何ができるかということをも掘り下げていくという進めの方がすっきりするのではないかと思う。

- ・ほかに意見のある委員の発言を求めるがなし。
- ・資料No.2の地域課題（案）の中からどれを地域協議会の課題にするか採決することを諮り、委員の了承を得る。
- ・（1）～（10）の項目ごとに委員（会長を除く）の挙手を求めた結果、
 - （1）公立保育園の老朽化についてが2人
 - （2）上越妙高駅周辺の整備、将来的な展望、周辺地域の活性化、観光振興についてが4人
 - （3）高齢者の見守り支援についてが1人
 - （4）避難路の安全確保についてが1人
 - （6）通学路・歩道等の危険箇所についてが3人
 - （5）（7）（8）（9）（10）については挙手なしとなった。

【宮崎副会長】

（2）（6）のどちらも過半数に達していない。上位二つで決戦投票した方がよいと思う。

【佐藤勝雄委員】

多数決をとったので、それでよいと思う。

【有坂会長】

私もそう思う。ここは過半数で決めるということにもなっていない。

委員数の多かったテーマを地域課題とすることを諮り、委員の了承を得る。

では、上越妙高駅周辺の活性化について、これを最初の課題、自主的審議事項

とすることに決定する。この件については、上越妙高駅の開業後、上越市の玄関口として駅周辺の開発が進んでいるが、進んでいないところもあり、開発の現状や今後の方針などを把握するとともに、地域団体等と意見交換をしながら、駅周辺地域の活性化について話し合っていくことにする。

今後の審議のスケジュールは正副会長に一任でよいかを諮り、委員の了承を得る。

では、我々で草案を作って、また皆さんに提示したいと思う。

以上で、次第4議題（1）「和田区の地域課題について」を終了する。

— 次第5 事務連絡 —

【有坂会長】

次に、次第5事務連絡について事務局より説明を求める。

【堀川センター長】

今後の予定について正副会長会議で話し合い、4月の地域協議会は開催しないで、5月の地域活動支援事業の審査に合わせて開催した方がよいという話が出た。4月に開催しないことでよろしいか皆さんに諮っていただきたい。

【有坂会長】

大体今までは月1回のペースで地域協議会を開催してきた。4月から年度が変わり、新たな地域活動支援事業の募集も始まる。できたら4月は1回お休みして、5月の地域活動支援事業の審査からスタートしたいと考えている。どうしても4月にやりたいということになれば、4月に開催する。それまでに今回決まった地域課題についてのスケジュールもできればまとめたいと思っている。もし、まとめられなければ、その次ということになる。まずは5月の地域活動支援事業の審査に重点を置きたいと思う。

4月はお休みし、5月に開催することでよいかを諮り、委員の了承を得る。

【堀川センター長】

- ・日程調整の用紙により、次回の候補日を事務局に報告することを依頼

- ・当日配布資料:和田区地域協議会だより第45号(令和3年3月25日発行)
(意見書)高田区における「内水ハザードマップ」作成及び住民への周知について(高田区地域協議会)

【有坂会長】

事務局の説明に質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

10 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。